

新型コロナウイルスに負けない！ 山小新型コロナウイルス対策マニュアル

～学級指導～

P.1 手洗い

P.2 手指消毒

P.3 うがい

P.4 トイレの使い方



～今後の衛生管理について～

P.5 教室消毒方法

P.6 トイレの管理・消毒方法

P.7 体調不良者が出た場合



手あらい

現2～4年生には保健指導で指導しています。その他の学年は、学級指導お願いいたします。

URL → <https://www.youtube.com/watch?v=SQ-FEiDVuaE>

先生方も歌いながら指導できるよう練習をお願いいたします。

子供たちへの指導事項

～石鹸での手洗いが大切な理由～

- ①石鹸で手を洗うことによって、ウイルスの外側の膜(脂質)をバラバラに壊して、感染力を奪える!
- ②手の表面がつるつると滑りやすくなり、洗う時にウイルスをはぎとることができる!

★きれいに手を洗っても、ハンカチで拭かないと意味がない! 必ずハンカチを使って手を拭こう!

* 手指消毒 *

学級指導お願いいたします。給食前に必ず使用



子供たちへの指導事項

～消毒が必要な理由・注意事項～

- ①アルコール消毒を行うことによって、ウイルスの外側の膜（脂質）をバラバラに壊して、感染力を奪える！
- ②手がぬれたままアルコール消毒液を使っても、アルコールが水で薄まり、効果が薄くなってしまうので、必ず乾いた手で使用しよう！

* うがい方法 *

- ① 少し強めにぶくぶくうがい
- ② ガラガラうがい15秒

正しい「うがい」のしかた

正しい『うがい』をおぼえよう!



- 

1 まずは水を口に
ふくむんだ
- 

2 すこしつよめに
「ブクブク」とゆすいで
はきだそう
- 

3 水を口にふくんで
上をむいてから
のどのおくで「ガラガラ」と
うがいをして、はきだしてね
☆15かぞえてね
- 

4 もういちど 3 を
くりかえしたら
おしまいたよ



- ③ もう一度ガラガラうがい15秒

子供たちへの指導事項

～うがいが必要な理由～

うがいをすることによって、
口の中にいるウイルスを外に追い出すことができる！

トイレの使い方

★トイレの窓を開け常に換気をする★

- ① トイレの前で間隔を空けて待つ
- ② 水を流す前に必ず蓋を閉める
- ③ トイレから出る前に必ず手を洗う
- ④ 粗相してしまったらすぐに先生に伝える(特に便)

※今後、和式のレバーは足で押して流す



子供たちへの指導事項

～トイレの蓋をする理由～

新型コロナウイルスは、感染者の便など、排せつ物からも検出されています。(尿や汗からは検出されていません)トイレの蓋を開けたまま水を流すと、人の背の高さくらいまで細菌・ウイルスが舞い上がります。それが約 90 分間も個室内の空気中に滞留する可能性があり、人に感染する危険性が高まります。流す前にフタを閉めることは、簡単にできる感染予防策です。ノロウイルスなど、さまざまな感染症の予防にもつながります。

消毒マニュアル* 教室版

1. 注意点

★消毒液は(時差登校の場合)①児童が入れ替わる時②児童の下校後に行う

- ・消毒液で拭く場合は「一方向」に拭く(同じところを行ったり来たり拭かない)
- ・教室用の消毒液で手指の消毒は行わない(手指はアルコール消毒のみ)
- ・汚れが残ったまま使用すると腐食や変色を起こす場合があるので水拭きを行う
- ・有毒ガスが発生するため、消毒液(次亜塩素酸)と酸を混ぜて使用しない
- ・消毒液(次亜塩素酸)は霧吹きなどでの使用は絶対にNG。吸い込んでしまうと健康被害に繋がる

2. 用意するもの

①500mlの消毒液(0.05%濃度希釈)

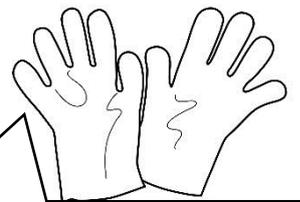


前日、月曜は当日の朝
次亜塩素酸を水で
希釈し作成します。

②バケツとぞうきん



③ゴム手袋



バケツは給食用赤バケツ、
ゴム手袋は嘔吐処理セットで
お渡ししているものを使用し
てください

- ・消毒薬は、養護の方で毎日用意をします(取り扱い注意)
- ・使用する前日までに、担任の先生の机の上に置いておきます
- ・使用済みペットボトルは、職員室養護のカゴに返却してください

3. 消毒方法

十分に換気をする
(教室・廊下の窓、教室の扉を開ける)

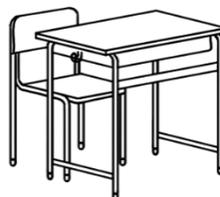
ゴム手袋を装着する
(消毒液を素手で触ると皮膚が溶け)

消毒液をバケツに入れ、ぞうきんを
しっかりしみこませ、絞って拭く

消毒液で拭いた後、ぞうきんを
水洗いし、水拭きをする

【主に拭く場所(手で触りそうな場所)】

1. 児童机・椅子



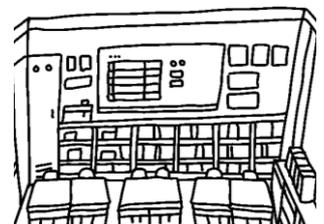
2. 窓の開け口



3. 扉



4. ロッカー



消毒マニュアル*トイレ版

1. 注意点

★消毒液は(時差登校の場合)①児童が入れ替わる時②児童の下校後に行う

- ・消毒液で拭く場合は「一方向」に拭く(同じところを行ったり来たり拭かない)
- ・トイレ用の消毒液で手指の消毒は行わない(手指はアルコール消毒のみ)
- ・汚れが残ったまま使用すると腐食や変色を起こす場合があるので水拭きを行う
- ・有毒ガスが発生するため、消毒液(次亜塩素酸)と酸を混ぜて使用しない
- ・消毒液(次亜塩素酸)は霧吹きなどでの使用は絶対にNG。吸い込んでしまうと健康被害に繋がる

2. 用意するもの

①500mlの消毒液(0.05%濃度希釈)

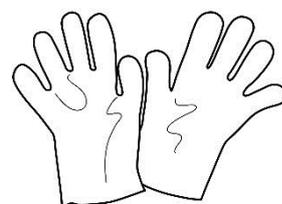


前日、月曜は当日の朝
次亜塩素酸を水で
希釈し作成します。

②バケツとぞうきん



③ゴム手袋



3. 消毒方法

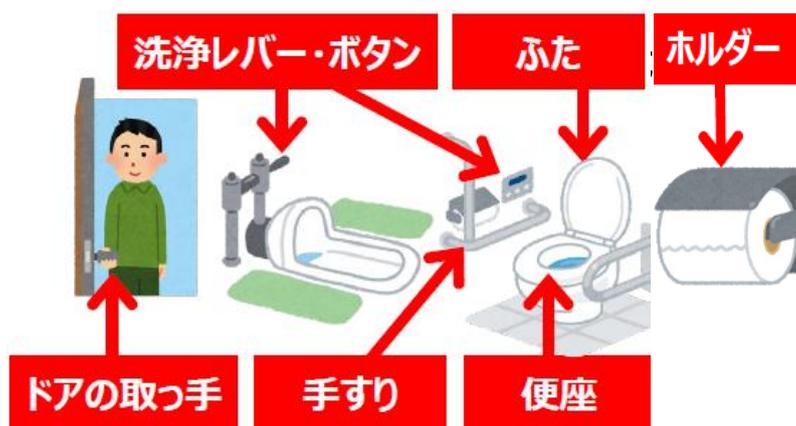
十分に換気をする
(教室・廊下の窓、教室の扉を開ける)

ゴム手袋を装着する
(消毒液を素手で触ると皮膚が溶ける)

消毒液をバケツに入れ、ぞうきんを
しっかりしみこませ、絞って拭く

消毒液で拭いた後、ぞうきんを
水洗いし、水拭きをする

【主に拭く場所(手で触りそうな場所)】



*** 体調不良者が出た場合 ***

※体調不良者・けが人以外はサポと保健室に行かない

【教室で体調不良者が出た場合】

- ・原則、発熱がなくても、本人からの訴えがあれば大事を取って早退させる。(早退者は、保健室から別室へ向かわせる)
- ・ランドセル等早退する準備を持たせてから向かわせる。
- ・家族が体調不良の場合も、早退させる。
- ・児童は、正門またはプール門で保護者に引き渡す。

【朝の健康観察で体調不良者が出た場合】

- ・発熱や家族が体調不良、本人から体調不良の訴えがあった場合教室に行かず保健室から別室で待機。
- ・児童は、正門またはプール門で保護者に引き渡す。